

復習シート 第四学年 国語

【R4】復習シート 小学校4年 国語（言葉）

組	
番号	
名前	

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

【1】次の文の | のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの中から、それぞれ一つえらびましょう。レベル3

(1) シュウ|中して勉強する。

1 週 2 習 3 終 4 集

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

1 返る 2 買える 3 帰る 4 代える

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

【2】次の | 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方が、書きましょう。レベル7

(1) 広|間に集まる。

読み方

読み方

音・訓

音・訓

(2) 広大な土地。

読み方

読み方

音・訓

音・訓

【文の構成を理解する問題】

【3】次の文の主語・述語を | 線部1～4の中からそれえらびましょう。レベル7

(1) きのうわたしは友達と児童館で遊んだ。

主語

述語

(2) 水族館で見た魚には、青く大きなひれがあつた。

主語

述語



コントン

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの中からえらび、二つの文にして書きましょう。

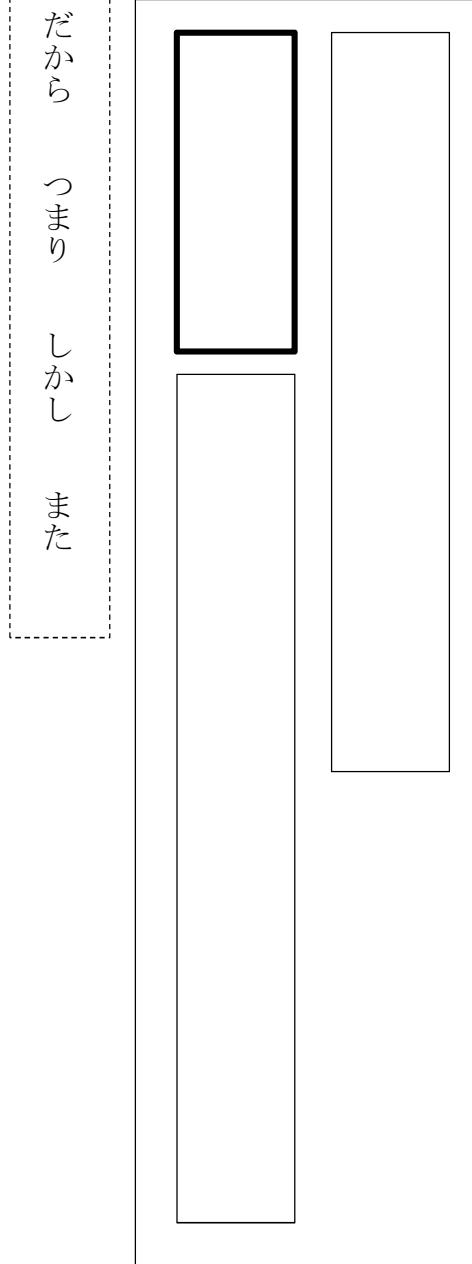
レベル6

雨がふりそうな天気だが、かさを持つてない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。
だから たくさん走った。

だから 足が痛かった。

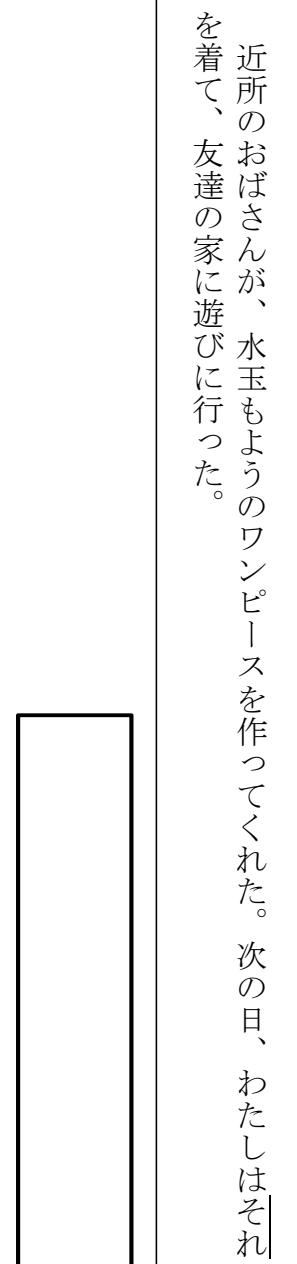


【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の——は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル6

近所のおばさんが、水玉もようのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家に遊びに行つた。

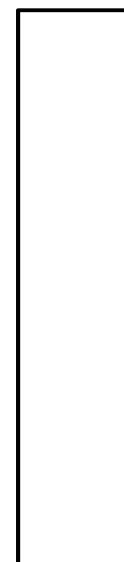


【反対の言葉を理解する問題】

6 の言葉と反対の意味の言葉を、書きましょう。

レベル5

電車が動く。



復習シート 第四学年 国語



組	
番号	
名前	

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

① 次の文を読んで、あととの問い合わせに答えましょう。レベル6

まゆみさんが、南町図書館の館長さんにインタビューをしています。

まゆみ 「こんにちは。わたしは、南小学校の北川まゆみです。きょうは、館長さんに図書館のことを聞きにきました。よろしくおねがいします。はじめに、ここではたらいている人は、何人いますか。」

館長 「わたしもふくめて全員で四十人です。多くの仕事があるので、みんなで手分けをしてはたらいています。」

まゆみ 「たくさん的人がはたらいているのですね。ここではたらいている人は、

A 「図書館での仕事は、本のかし出しや本の相談、図書館のそうじなどをしています。来てくれた子どもたちに読み聞かせもします。」

館長 「いろいろな仕事があるのでですね。この図書館には

まゆみ 「いろいろな仕事があるのでですね。この図書館には

B 「

館長 「ここ」の図書館は、日本のお話や外国のお話、絵本などたくさんの中があります。とくに、子ども向けの本がたくさんそろっているので、たくさんの

子どもたちに来てもらい、本を読んでほしいですね。」

まゆみ 「わたしも本を読みに来たりました。たくさんのことを教えていただき、ありがとうございました。」

【R4】復習シート 小学校4年 国語（話すこと・聞くこと）

(2)

B

「いろいろな仕事があるのですね。この図書館には

」。

(1)

A

「たくさんのがはたらいているのですね、ここではたらいている人は、

」。

なことを聞いていますか。□に当てはまるように、まゆみさんが言つた言葉を考えて書きましょう。

インタビューの□Aと□Bの部分で、まゆみさんは、館長さんにどん



復習シート 第四学年 国語

組	番号	名前

【条件に沿って書く問題】

- 1 Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめました。メモ①②③の中から、あなたが遊んでみたいものをえらび、〈注意〉をまもって書きましょう。

メモ

⑦三色おにごっこゲーム

- ①まず集まつた人を、「青組」「赤組」「白組」の三つに分ける。
 （色は何色でもよい。人数によつては、チームの数をふやすこともできる。）
 ②青は赤からにげ、赤は白からにげ、白は青からにげる。タッチをされたら、そのままに連れていかれる。
 ③決められた時間をたたかい、相手をつかまえた数がもつとも多かつたチームが勝ちとなる。

①聞き耳ゲーム

- ①四～五名のグループになり、聞き取り役を一名と言葉を言う人に分ける。
 ②言葉を言う人たちでテーマを話し合い、テーマにあつた言葉をそれぞれ決める。
 （例）テーマがくだもの・言葉を言う人が四人の場合

- Aさん→りんご、Bさん→バナナ、Cさん→パイナップル、Dさん→みかん
 ③合図で、言葉を言う人が決めた言葉をいつせいに言う。
 ④聞き取り役は、聞こえた言葉から、テーマを当てる。
 ⑤聞き取り役がテーマを当てたら、聞き取り役の勝ちとなる。

④ろくむしゲーム

- ①二十メートルほどはなれた場所に二つの円をかく。
 ②二人のオニと、子（オニいがい）を決める。
 ③二人のオニは、子をねらつてボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよけながら、はなれた円の間を行き来（おうふく）する。
 ④ボールに当たらずに「おうふくしたら「いちむし」、二おうふくしたら「にむし」・・・となり、「ろくむし」まで行けば子の勝ちとなる。



レベル7

【R4】復習シート 小学校4年 国語（書くこと）

〈注意〉

- | | | |
|---------------------|---|----------------------|
| 3 | 2 | 1 |
| 二段落目には、えらんだ理由を書くこと。 | 一段落目には、遊んでみたいと思った遊びの名前をメモ②③④の中からえらんで書くこと。 | 二段落で、五行以上、六行以内で書くこと。 |



復習シート 第四学年 国語



組	
番号	
名前	

【物語を読んで答える問題】

次の文章を読んで、あとで問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子がえがかれている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といつて、三匹の魚の子供は、ついにその花びらをのんでもいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。
「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、一ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になつていったからです。

【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子がえがかれている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをしかりました。
「だつて、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けつして、川などへいってはいけません。」と、母親はいました。
子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたいものだと、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。

レベル6

(2)

イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。レベル6

母親がいったことを

をうろついた。

にはせず、赤い魚を捕まえるために

(3) さめざめと泣いたのです。の理由として、もっともふさわしいものを次の1~4の中から一つえらびましょう。レベル6

- 1 子供の魚の色が、ちがう色に変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れってきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまったから。

--

